

# 新井中央小だより

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/>メール [chuou@ac.city.myoko.niigata.jp](mailto:chuou@ac.city.myoko.niigata.jp)

平成24年12月21日

## 子どもたちの挑戦を支える「安全基地」に

校長 小林 啓 一

先日、ある教室を訪れたところ、学期末のお楽しみ会について熱心に話し合っていました。きっと、楽しい内容になるのだろうなと思って、教室を出ました。後で、どんな内容になったのか聞いてみると、話し合いが終わった後、決まった内容について「うまくいか、心配だな」と不安に思う子どもたちがいたそうです。そのとき、Aさんが「やってみなくちゃ、分かんないよ。この間のドッジボールもうまくやれたしさ。」と言ったそうです。その学級では、以前、ドッジボールが苦手な子も楽しめるように、ルールなどを工夫したドッジボール大会を行いました。Aさんはその実行委員になり、休み時間返上で大会の準備をしていました。このAさんの積極的な考え(挑戦)が子どもたちの不安感を和らげ、みんなの力で、楽しい会にしようということになったそうです。

当校が学校支援プロジェクトで連携している上越教育大学の赤坂真二先生のお話によると、ある調査で、小学校2年生で「自分の能力を出し切らない方がいい」と考える子どもが出てきて、5年生のころに半数を超えることが分かったそうです。そして、「どうせ、うまくいかないのなら、挑戦しない」というふうに考えてしまいがちになり、将来への夢や希望ももてなくなる子どもが増えてきているそうです。

『五体不満足』の著者である乙武洋匡さんが小学校の教員をされたとき、子どもたちに新しい課題を示したところ、「エー、無理!」「できない!」という反応が返ってきたそうです。乙武さんは「一度もチャレンジしないうちに自分の可能性を摘み取ってしまうのはもったいない」と、不可能だと思われた水泳に挑戦しました。その乙武さんの姿を見て、子どもたちは「やらないで、できないというのはやめよう」と、変わっていきました。

新たな課題や壁への挑戦は、苦勞が多く、時には失敗や挫折もあり、不安です。でも、挑戦を支え、失敗や挫折をしても認めてくれる人がいたら、結果ではなく子どもの存在そのものを丸ごと認めてくれる人がいたら、強い意志で向かっていくことができます。発達心理学では、そうした人(仲間)の存在を「安全基地」と呼ぶそうです。

来る年、子どもたちが将来に向けての夢や希望をもって、新たな課題や壁に挑戦できるように、家庭・地域・学校、そして、仲間が、子どもたちの「安全基地」となって、子どもたちの挑戦を支えることができるようにと願っています。



## 2学期の出来事 ダイジェスト

2学期もいろいろなことがありました。いろいろな活動を通して、子どもたちは多くのことを学びました。皆様の御協力ありがとうございました。



【マーチングパレード】



【5年 自然体験教室】



【駐車場舗装工事】



【親善陸上競技大会】



【文化祭 学習発表会】



【マラソン大会】



【社会同和教育研修会】



【お弁当給食】



【クラブ活動】



【熊が出没 集団下校】



【毎月の放送避難訓練】



【6年薬物乱用防止教育】

## 緊急時の対応について

春に配布した資料でもお知らせしましたが、妙高市の小中学校では下記のように対応いたします。改めてお知らせするとともに、御家族全員で確認をお願いいたします。

(1) 登校前に地震が発生した場合（震度は市内での最大震度です。）

＜震度5強以上＞ 市内の全学校が臨時休校します。

＜震度5弱以下＞ 学校からの連絡があるまで、自宅待機させてください。地震警戒本部（市）及び教職員による通学路等の安全確認後、臨時休校、遅延スタート、授業カット等、連絡します。

(2) 登下校中に発生した場合

①強い揺れが収まるまで、できるだけ広い場所に一時避難するよう、御家庭でも御指導ください。

②地震被害の状況に応じて、学校職員が安全確認に向かったり、子どもたちを学校または各家庭へ引率したりします。保護者や地域の方々からの御協力もお願いいたします。

(3) 学校にいる時に地震が発生した場合

通学路等の安全確認の上、地震被害の状況により、下記のいずれかを行います。

①安全な下校について指導し、同じ方面でまとまって下校します。

②職員が付いて、集団下校します。留守等のため、帰宅させないで学校に残るようにさせてほしい方は、予め担任にその旨、御連絡ください。

③保護者の方が学校に迎えに来られるまで、学校で保護します。

※ 連絡は、「PTAメール」「学級緊急連絡網」「緊急連絡先への電話連絡」などを使います。

◇緊急連絡先の変更などがありましたら、担任に御連絡ください。

◇大きな地震が発生した場合、電話やメールもつながりにくくなりますので、予め御了承ください。保護者の皆様も自ら情報を得て対応して下さるようお願いいたします。

## 冬季の安全確保について

(1) 危険箇所の確認

降雪期になり、交通事故に対する注意や民家の落雪、流雪溝等の事故が起こらないよう危ない場所について御家庭でも確認をお願いします。

(2) 学校周辺道路での事故防止

冬季にかかわらず、児童のお迎えの時に学校周辺の民家の駐車場に自家用車を止めて困るという連絡が時々入ります。また、朝の鉛筆地下道のそば、校門前で降車する時に後続車両が追突しそうになるなど危険な事もあります。マナーを守るとともに交通事故には十分気を付けてください。



【昨年の学校前の様子】

(3) 校地内での事故防止

校地内に車で入られるときには、児童が外で活動していることがありますので、最徐行するなど、十分に安全確認をしてください。また、御来校の際には体育館の落雪に十分注意してください。

(4) 豪雪による臨時休校などの措置

昨年と同じように今年も降雪が多い見込みです。荒天の場合や降雪が多い場合には、児童の安全確保のため時間を遅らせて学校が始まる場合や授業カット、休校等の措置をとります。御迷惑をおかけする場合がありますが、御理解御協力をお願いします。

## 冬休み 学校、家庭、地域が 手を結び、子どもたちを育てましょう！

12月22日（土）から1月7日（月）まで、子どもたちが楽しみにしていた冬休みになります。学校では、地域子ども会や学級で冬休みの生活について指導をしました。御家庭でも、下記のことについてぜひ話し合われてみてください。

- 子どもの実態をよく見て、子どもの話をよく聞き、冬休みの過ごし方を一緒に考える。
- 家族に見守られながら、自分で計画を立て自主的・自律的に生活する態度を育てる。
- 家庭における役割を自覚し、その役割を果たすことによって家族の一員として力を合わせ、生活をよりよいものにしていこうとする態度を育てる。
- 地域の行事に進んで参加させたり、計画を立てさせたりしながら、子どもたちを見守り、地域を愛する心や社会性を育てる。気持ちのよいあいさつができる子どもにする。

### 1月の行事予定

- 8日（火）始業式、冬の集団下校指導 11:45
- 9日（水）給食開始
- 16日（水）なかよし遊び、委員会活動
- 17日（木）知能検査 5年
- 18日（金）5年生スキー教室(池の平)①、知能検査1、3、4年  
校内書き初め展～31日

※1月は学習参観がありませんので、御都合の良い時間に見に来てください。

- 21日（月）給食週間
- 22日（火）にこにこあいさつ運動
- 24日（木）児童朝会
- 25日（金）4年生スキー教室(池の平)①
- 29日（火）1年生スキー授業(グラウンド)
- 30日（水）学力検査（国語・理科）
- 31日（木）学力検査（算数・社会）



2月8日(金) 同和教育を学ぶ会  
※6年生が授業公開をします。  
3学期に御案内を配布します。

### 【お知らせ】

スキー学習ボランティア募集についてお願いをしました。申し込みをされなかった方で都合のよくなった方は、1月でもかまいません。各担任までお知らせください。一人でも多くの方から御協力をいただくと、1グループあたりの人数が少なくなり、きめ細かく指導ができます。御協力、よろしく願いいたします。

平成24年も残り2週間になりました。学校では様々な教育活動を進めることができ、実りの多い一年でした。これも地域の皆様、保護者の皆様の御理解、御支援の賜と感謝申し上げます。ありがとうございました。

冬休みに入りましても、緊急性の高いものについてはメール及びホームページでお知らせします。学校だよりの他、ホームページでも教育活動の様子をお知らせしていますので御覧ください。

地域の皆様、保護者の皆様、来年もよろしく願いいたします。